

# みんな イッシヨ! ずう～とイッシヨ!

2016年3月19日発行

VOL. 31

編集・発行/広報委員会

広報委員長/榊原貴倫

電話ファックス 0797-57-9060

(一小宝梅ハウス)

平成27年度まちづくり活動をご紹介します♪

本年度もいろいろな活動を行いました♪



(写真左：上段はジャッキ救出訓練、中段のテント内は煙道通過訓練、下段は炊き出しの試食)



## 第7回 合同防災訓練

1月16日(土) 10時より、合同防災訓練を宝塚第一小学校で開催しました。

今回は子ども向けのミニ消防車や水消火、防災防犯用ホイッスルを用意し、簡易担架など家族で体験できる身近な訓練を中心に企画したことで、80人を越える園児や児童を含む260人余りの参加者が得られ、昨年の参加人数を大きく上回ることができました。

また事前に防災学習会と実行委員会を各2回開催し、自治会やマンション管理組合、地域の方のご理解とご協力を得たことも、大きな推進力となりました。

(写真下：左は土嚢作り訓練、

右はアップ君で子どもたちによる懸命の救急救命訓練)



(写真上：左は防災釜での炊き出し、右は豚汁とアルファ化米の配給)

### ～平成28年度 定期総会のご案内～

宝塚第一小学校区まちづくり協議会の定期総会を下記の日程で開催いたします。安全で安心なまちづくりに関心のある方、是非お立ち寄りください。

日時：5月14日(土) 10時～

場所：宝塚第一小学校 視聴覚室

議事：平成28年度事業計画・予算(案)、ほか



## 初の子ども防災まつり

子ども防災まつりとおもちゃ交換会を合わせた「イザ!カエルキャラバン」が、昨年11月28日一小体育館と中庭で開催されました。

これは子どもたちと若い保護者を対象に、防災プログラムとおもちゃの「かえっこバザール」を組み合わせた新しい形の防災イベントです。

当日は一小っ子遊ぼう会主催で恒例のだんご汁会も同時に行われ、子どもたちなど約500人が美味しいだんご汁をいただきながら、100人のボランティアスタッフによる消火、防災カルタ、担架訓練、防災紙芝居などのブースで楽しく防災を学びました。

(写真:まつりの最後に全員集合)



## 10周年 秋の地域演奏会

昨年10月24日に開催された一小まち協10周年コンサートは約300人の参加があり、大盛況のうちに終わりました。今後も地域の皆さんが触れ合えるイベントを考えていきたいと思ひます。

☆地域交流部会 女性コーラスU. M. Eは華をそえてくれました。

(写真左;女性コーラスU. M. E)



宝梅中学校の吹奏楽部は関西のコンクールで銀賞をとった素晴らしい演奏を披露してくれました。



(写真上;宝梅中学校吹奏楽部)

また、視聴覚室で子育て部会



の人を中心に未就学児の話会を行い、子育て中の方にもゆっくりとコンサートを聴いてもらいました。 ☆子育て部会

## 自転車教室と下校時見守りで児童の安全

昨年12月10日、3年生を対象に自転車教室を開催しました。市防犯交通安全課と交通安全協会の指導の元、実技と座学が行われ、子どもたちは緊張しつつも熱心に取り組んでいました。道路交通法を守り自転車に正しく乗ることは、自分と周りの人の命を守るということ学ぶよい機会となりました。

また本年度、下校時の児童見守り活動を始めました。校区内には危険箇所が多く、先生や保護者、地域ボランティアの方々が見守り体制をとっていますが、まだまだ手薄な状態です。さらなる安全対策を行うため、地域の子どもたちを守るお手伝いを一緒にしていただける方を募集中です。

連絡先:080-5700-5296(大槻) ☆安全部会



(写真:左は自転車教室、右は正門前での見守り活動の風景)

## 校区健康づくり推進員だより

1月31日(日)第一小学校で健康座談会が開催されました。竹田保健師の講話の後、「私たちの健康を脅かすもの」をテーマに3グループに分かれ、私の健康法やもっと知りたいことなど日頃感じることを話し合い、有益なご意見を多数いただきました。

また、2月12日(金)神戸市東灘区にあるコープこうべ商品検査センターを見学しました。安全な食品を提供するため、残留農薬や食品添加物、放射能物質などを、地道に検査していてとても安心しました。

☆健康づくりのお問い合わせは26-7122富樫まで



(写真:左は健康座談会、右はコープこうべ商品検査センター)

## 第10回 一小もちつき大会

2月24日(水) 10時から一小もちつき大会が行われました。

1995年阪神淡路大震災の後に始まったこの会も、一小まちづくり協議会が前身のコミュニティから受け継いで10回目。宝塚第一小学校は地震当初から避難所となり、廃材を用いての炊き出しが行われました。その経験を残しつつ、地域とのつながりを大切に、学校、育友会、地域が一緒になって、この会が今日まで続いています。

今年卒業を迎える児童たち203名は、6年間ずっと見守ってくださった地域の方々へのお礼をお餅の接待と歌で伝え、そして地域からも子どもたちの無事の卒業を祝う、楽しく温かい会となりました。

(写真；左は6年生のお餅つき、右は地域の方にお礼の歌を披露)



## 市浄水場の見学会

環境部会では水道水に注目し、昨年10月8日宝塚市上下水道局の惣川浄水場を見学しました。この浄水場は川下川ダムから約8Kmのトンネルを通して導水され、隣接の水質試験場では最新鋭のシステムにより貯水池や浄水場、給水栓の水質試験を行っています。

一小校区の上水は生瀬浄水場から配水されますが、市内で稼働する6つ全ての浄水場では24時間体制で水質検査と監視を実施しています。

見学後、住民の私たちができることは、天空から与えられた水を大切に、そして川の水も各浄水場に導水されるため、汚さないことだと思いました。

☆環境部会



## 平成27年度 地域福祉ネットワーク会議

「地域情報のあり方について考えてみよう」  
～さまざまな情報、その伝達手段は?～

1月31日(日)西逆瀬川自治会館にて開催。市地域福祉課、社協、地域包括を進行役に「情報が得にくい人はどんな人?」「地域で取り組みそうな工夫、方向性について」をテーマに32名の出席者がグループワークを実施。「伝えたい情報、受けとる側が欲しい情報、いかに伝えていくか?…」を話し合いました。

各グループから、昔ながらの掲示板の活用やご近所の口コミなどが発表され、受け手の立場に立って無理なく出来る小さな工夫の大切さと、地域の現状の再認識の機会になりました。

☆福祉部会



## 長寿ガ丘焼き芋大会

2月13日早朝より、天候を気にしながら石焼き芋機を温め準備。幸いにも終了まで雨も降らず、美味しそうな焼き芋の匂いが漂います。この日が地域デビューの生後一か月の赤ちゃんから?歳まで、幅広い世代約80名が集い、おしゃべりや仲良く遊んだりして、ホクホクの美味しい焼き芋を皆でお腹いっぱい楽しみました。



←焼き芋機貸し出します!

## 一年を振り返って塩川会長総括

「まち協 10 周年そして次の 10 年へ

### 住み続けたいまち防災福祉コミュニティづくり」

古来、日本の街には、祭り、地車、消防団…がありますが、一小校区は小林一三氏の実験都市のまさに中核地域。震災から 20 年、温泉街はマンション街に急変し都市化が進みコミュニティが希薄になりました。

地域で夏祭りや餅つきをする理由は「地域の子どもは地域で育てる」とともに“近所の顔が見える関係づくり”が防災防犯の基本だからです。今年の夏祭り、雨で順延。次の日の昼間開催し当日夕方撤収。祭りが終わり片付けを呼びかけたところ多くの参加者に協力いただき、あっという間に片付きました。祭りの定着と蓄積が示された瞬間でした。

コミュニティ 10 年、まちづくり協議会 10 年。「ずっと住み続けたいまちへ」を合言葉にバトンが受け継がれ、“防災福祉コミュニティづくり”をビジョンに事業を継続しています。防災連続学習会は恒例となり（毎回 40 人参加）、秋の子ども防災には約 500 人、合同防災訓練には約 260 人が参加。飛躍的に前進しました。しかし、一時避難所などの整備や要支援者への対応など足元の制度設計はまだ始まったばかりです。まち協のミッションは持続的な社会、住み続けたいまちづくり。地域課題は子育て、福祉、安全、環境、地域交流の 5 つの部会で解決へむけて事業化しています。さらに広場円卓会議は校区内の諸団体の情報交換の場であり、新たな地域課題発掘と解決へ「協働」であたります。議題に上がったのは保育所不足、待機児童問題、宝塚ホテル撤退、一時避難所など歩いて行ける集会所の整備です。まち協発足 10 周年、次の 10 年へ確かな歩みを続けて行きましょう。

（写真：塩尾寺側から眺めた宝塚南口駅周辺）



### 一小まち協の最新情報をネットで検索♪

「[一小まちづくり](#)」で検索したら、『[ボランティアライフ](#)』  
第一小学校区まちづくり協議会』を見つけてクリック  
してください(^\_^)☆ ※最近のアクセス数は平均 190 回/日

## 宝梅ハウス

宝塚第一小学校区まちづくり協議会の拠点である宝梅ハウスは、9人のボランティアで支えられています。この9人は順番に当番として午前中ハウスに在駐し、その管理や清掃、花壇のお世話を行ったり、ハウス利用者の受け付けや対応をしています。

月1回の運営委員会ではみんなでお茶を飲みながらハウスの課題などを楽しく話し合い、運営にあたっています。そのほか、夏まつりや合同防災訓練などでも活躍し、一小まち協にとってなくてはならない存在です。

皆さんもちょっとボランティアとして、月1回のお当番でもいいので、お手伝いしてください。

利用時間	A	9時～12時	利用時間帯はご相談に応じます
	B	13時～16時	
	C	17時～20時	
利用料金	1階	500円	月により、冷暖房費を100円追加徴収します
	2階	1,000円	

\*印刷、コピー、ラミネートもご利用ください。（有料）

\*月曜日～土曜日の10時～12時まで担当者が在室。

\*詳細は電話にてお問い合わせください。

電話&ファクス 0797-57-9060

## 人権・市民集会

2月20日（土）10時より校区人権啓発推進委員会主催による一小児童の学年別人権作文と人権標語の発表会が行われ、引き続き山根喜代浩先生（インターネット利用アドバイザー）による「スマホの光と影 2016～所持する責任と所持させる責任～」をテーマにした講演がありました。社会が「無縁」から「結縁」に動く中で、インターネットが「電縁」として合致し、普及が進んだ。小6生のケータイ所有率は昨年兵庫県が61%（全国平均58%）で、3年間でほぼ倍増。子育てにスマホを使う親がいるが、パネルの犬を上手にタッチする子が生きた犬にもタッチして噛まれるなど、五感が発達しない。親子で使用時のルールを決めるとか、子どもの顔も見て会話しましょう。

（写真：左は児童の作文発表、右は山根先生の講演）

